

「こまちダムまつり2008」へご来場ください！ ～7月26日(土)開催～



こまち湖巡視体験



ダムや浄水場を見学しませんか？



昨年も大勢の方にご来場いただきました！

森と湖に親しみ、森林やダム、河川等の重要性について関心と理解を深めることを目的に、「こまちダムまつり2008」を開催します。

「こまちダム」や「こまち浄水場」の施設見学会、こまち湖の巡視艇による巡視体験等のイベントを予定しています。詳しくは、後日配付の回覧文書でお知らせします。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

●日時

7月26日(土)

午前9時30分～午後3時

●会場

こまちダム

◆問い合わせ

地域整備課

☎72-6936

ふるさと小野町会 ふれあい通信

「湯沢の専属歌手」は私です

私です

横田 由雄

(湯沢出身・神奈川支部)



湯沢の里に生まれて温泉で産湯を使い、矢大臣山の麓を仲間と駆け巡りながら故郷・小野町の文化(風俗・習慣・言葉等)について学び、長じて首都圏に職を求めて、はや半世紀の時間が経過しました。

退職後の第一の人生は、ボランティア活動と趣味中心の生活と定め、社会貢献及び行政支援等の日常を過ごしてありますが、年金仲間誘われて始めた趣味のカラオケが、私に「湯沢の専属歌手」の立場と、藤沢市民会館や地元神社の祭礼で歌う勇気を与えてくれました。

ある時、湯沢分校時代の恩師への手紙に、趣味の力

ラオケを楽しんでいる旨を報告したところ、「ああ、湯沢分校」、「懐かしき湯沢哀歌」二曲の譜面が、いきさつを記した手紙と共に手許に届きました。何れも作詞(教え子・先輩)・作曲(恩師)なるもので、なんと歌手は私(由雄)である旨記されておりました。その後さらに「望郷想歌」故郷を恋うる歌の譜面が手許に届きました。(恩師の口ぐせ：教室では無口で、歌など聴いたことがない由雄が歌うとは信じられない。)

恩師は、湯沢分校に着任して、小学1年生～4年生の複式学級を担任し、模範的な教育を続けながら、老若を問わずに里人と深く交遊したこともあって、今も湯沢の里の恩人・偉人として慕われております。

平成17年8月16日(火)
：湯沢温泉で恩師の教え子を対象に、当時の分校教室を再現して、「ああ、湯沢分校」、「懐かしき湯沢哀歌」、「望郷想歌」故郷を恋うる歌の発表会を行いました。更に秋には、湯沢体育館で開催された運動会の場で、全ての里人を対象に発表会を行い、万来の拍手を頂戴することができました。

恩師からの新譜は現在も届いております。